

DCS - P1A

DAYLIGHT CONVERSION SYSTEM

この度は弊社製品<デライトシステム>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はフロントLEDポジションランプをデライト化するキットです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。
 ★本文では<デライトシステム>を<DCS>と略して表示しております。
 ★本製品を取り付ける場合、端子の抜き差し作業が必要です。取り付けは必ず専門店にておこなって下さい。

【使用上の注意】

- ポジションランプをデライト化した場合、ポジションランプは『その他の灯火』としての扱いになります。
- この場合本来の車幅灯がなくなってしまう為、弊社ウインカーポジションを装着し車幅灯として使用して下さい。
- 車検の解釈については、検査官自身の判断によってまいります。車検時にはノーマル状態に戻してから検査を受けて下さい。

【製品の特徴】

- ★昼間の走行時でもフロントポジションが点灯し走行安全性を高めめます。
- ★拡張アダプターを装着することによりアンロック時に10秒間フロントポジションランプが点灯する『アンサーバックシグナル』をおこなうことが可能です。

お願い！ 本製品は性能向上などの理由により取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はお手数ですが当社ホームページを閲覧のうえ、最新版の取り扱い説明書を参考に取付作業、調整をおこなって下さい。

△危険 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される差し迫った危険な状況を示します。

- 本製品および付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けられないでください。運転に支障をきたし事故の原因となります。
- 本製品の装着により車両に異常が出たままの状態で行走を続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりでなく、事故を招く可能性があります。性能が損なわれている場合は専門業者に点検、整備を行ってください。
- 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。加工・分解・改造等の形跡が見られた場合、クレーム・修理の対象外とさせていただきます。
- エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。必ず各部品の温度が下がってから作業 をはじめてください。

△警告 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

- 本製品は車両電源がDC12V車用です。12V/24V兼用車または、24V車には使用しないで下さい火災の原因となります。
- 本製品の取り付け時は使用しない配線などは絶縁テープを巻くなど必ず絶縁対策を行って下さい。ショートなどにより火災、電装品、エンジン、車両の破損の原因となります。
- カブラーを外す場合には無理にハーネスは引っ張らず、必ずカブラーを持って取り外してください。ハーネスが破損すると、ショートなどにより火災、電装品の破損、焼損の原因となります。また製品の故障の原因となります。

△注意 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、物質損傷を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

- 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損、紛失しないように大切に保管してください。弊社では、取り付け作業による物的損害の責任を負うことが出来ませんので慎重に作業を行ってください。
- 本製品は精密部品ですのでハーネスの取り回しで強力な信号、ノイズの発生しやすい箇所は避けてください。誤作動する恐れがあります。
- 本製品に付属するハーネスは耐熱部品ではありませんので高温部を通す場合は必ず熱対策をおこなってください。

- <付属品> ●接続ハーネス×1セット ●タイラップバンド×4本 ●オスギボシ&スリーブ×各1個 ●熱収縮チューブ×2本 ●電源ヒューズ(10A)×1個 ●エレクトロタップ×1個

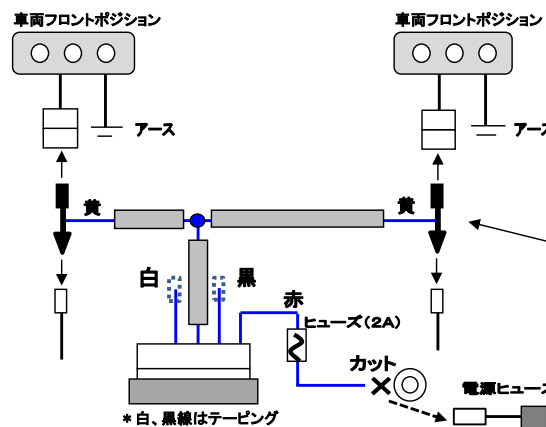
【取り付け上の注意】

- △注意** ◎取付作業には配線加工をしますので圧着ペンチ、絶縁テープ等が必要です。
 * 誤配線・接触不良等による本体破損はクレームの対象にはなりませんので慎重に取り付けてください。
 ◎ヘッドライト・バンパー等はずして作業したほうがスムーズに取り付けがおこなえる場合があります。判断してから作業をおこなって下さい。
 * 取り外し方などはディーラー、専門業者に問い合わせてください
 ◎ハーネス類は運転の妨げにならないようまとめて本体を固定して下さい。

【配線方法】

△注意 詳しい接続方法は、必ず<車種別資料>を参考におこなって下さい。

接続図

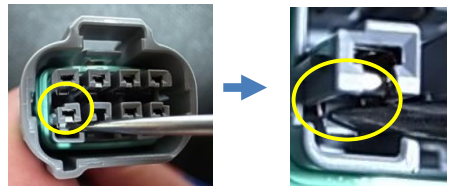


- ①DCSの白、黒線は使用しません(拡張アダプター用)。他に接触せぬように確実にテーピングして下さい。
- ②左右のポジションのカブラーを確認して下さい(車両別資料参照)
- ③車両のポジションカブラーより指定位置の端子を抜いて下さい。
●作業には先のとがった工具が必要です。(端子抜き方参照)
- ④車両のポジションカブラーより端子を抜いた位置へDLSのメス端子を差し込みリテーナーを装着して下さい。
●抜いた車両のメス端子にDCSのオス端子を差し込み熱収縮チューブにより固定して下さい。
注意！DCSの端子のハーネス部にはダイオードが入っています。折り曲げないで下さい。
- ⑤DCSの赤線をIG12v線(ACC12v線でも可)へ接続して下さい。
●<車両別資料>を参考に接続をおこなって下さい。
●DCSの赤線の丸端子をカットし、付属のオスギボシを圧着して下さい。
●エンジンルーム内のヒューズBOXより指定のヒューズを抜き、付属の電源ヒューズと差し替えて下さい。
* 付属ヒューズは10A用です。10A以下のヒューズに代用出来ます。
* 電源ヒューズは指定位置へ差し替えて下さい。
●所定の場所にヒューズが無い時は、テスターにてIG12vを確認してエレクトロタップにて接続して下さい(ACC12v可、車内接続可)

端子抜き方(リテーナーの外し方)

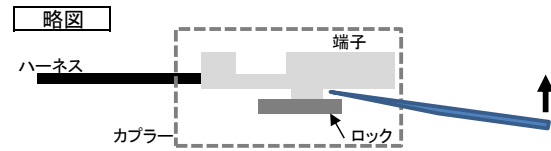


端子の抜き方



- * 乱暴に作業すると車両カブラーを破損させてしまいます。慎重に作業をおこなって下さい。
- ①先の尖った工具を用意し、カブラーのリテーナー(白色の部分)を外して下さい。
* リテーナーを工具にて少しづつこじるようにして抜いて下さい。リテーナーは徐々に抜けます。
* 無理に力をかけるとカブラーが破損してしまう可能性があります。作業は慎重におこなって下さい。

- * 乱暴に作業すると車両カブラーを破損させてしまいます。慎重に作業をおこなって下さい。



- ①<車両別資料>を参考に、抜く端子の位置を確認して下さい。
- ②端子のカブラー側のロックを工具により下げた状態で配線を慎重に引っ張ると端子は抜けます。

車両メス端子の処理

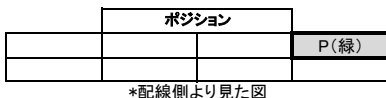


- ①DCSのオス端子側へ付属の熱収縮チューブを通します。
- ②車両カブラーより抜いたメス端子をDCSのオス端子に差し込みます。
- ③熱収縮チューブを完全に被せ、ドライヤー等でチューブを収縮させます。
* 収縮チューブはライターであぶっても収縮しますが、収縮状況を確認しながら作業しないと車両ハーネスを溶かしてしまいます。慎重におこなって下さい。
* 水がかかる状況の場合、さらにテーピングを防水処理して下さい。
* ハーネスの太さによっては、収縮チューブが通らない場合があります。その場合は収縮チューブを使用せずにテーピングだけにして下さい。

【ノーマル復帰方法】 ●全てを元に戻すことによりノーマルに戻りますが、ヒューズを抜くことによりノーマル時の作動と同じにすることも可能です。
●別売のスイッチキットを装着することにより運転席からのオン・オフも可能です(税抜価格¥2,800)

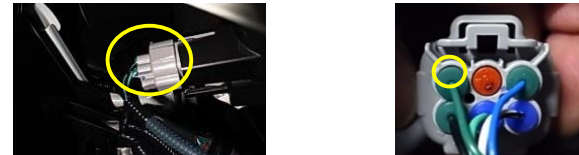
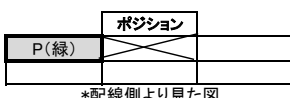
DCS車両別資料 注意！ 図はカブラーを差した状態にて配線側より見た図です。また配線色は車両に異なる場合があります。接続位置にて判断して下さい。

- トヨタ 80ノア・ヴォクシー** ①フロントバンパーを脱着しヘッドライト下側の**8極カブラー**を確認して下さい。
トヨタ エスクァイア ②8極カブラーを抜き、メス側の<P>の位置の端子を抜いて下さい(下記図面はメス側カブラーを配線側より見た図です)



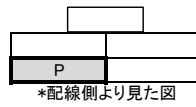
- ③IG12v電源はエンジンルーム内助手席側のヒューズBOX内の指定ヒューズより取り出して下さい(付属の電源ヒューズと交換)
●A/F HTR(10A)のヒューズを抜き、付属の電源ヒューズに差し替え、DCSの赤線と電源ヒューズを接続して下さい。
●左図はガソリン車用の画像です、ハイブリット車はヒューズBOX形状ヒューズ位置が異なります。
* A/F HTR(10A)のヒューズは同じです。

- トヨタ 60ハリヤー** ①フロントヘッドライト後方の**6極カブラー**を確認して下さい。
LEDシーケンシャルターンランプ車除く ②6極カブラーを抜き、メス側の<P>の位置の端子を抜いて下さい(下記図面はメス側カブラーを配線側より見た図です)



- ③IG12v電源はエンジンルーム内助手席側のヒューズBOX内の指定ヒューズより取り出して下さい(付属の電源ヒューズと交換)
●EFI No.1(10A)のヒューズを抜き、付属の電源ヒューズに差し替え、DCSの赤線と電源ヒューズを接続して下さい。

30プリウス 後期

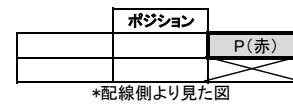


- ①フロントヘッドライト後方の4極カプラーを確認して下さい。
- ②4極カプラーを抜き、メス側の<P>の位置の端子を抜いて下さい(下記図面はメス側カプラーを配線側より見た図です)

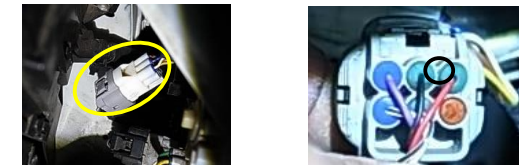


- ③IG12v電源はエンジンルーム内助手席側のヒューズBOX内の指定ヒューズより取り出して下さい(付属の電源ヒューズと交換)
 - IGCT No. 3(10A)のヒューズを抜き、付属の電源ヒューズに差し替え、DCSの赤線と電源ヒューズを接続して下さい。

レクサス CT200h

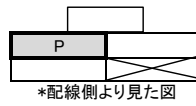


- ①フロントヘッドライト後方の6極カプラーを確認して下さい。
- ②6極カプラーを抜き、メス側の<P>の位置の端子を抜いて下さい(下記図面はメス側カプラーを配線側より見た図です)



- ③IG12v電源はエンジンルーム内助手席側のヒューズBOX内の指定ヒューズより取り出して下さい(付属の電源ヒューズと交換)
 - IGCT No. 2(10A)のヒューズを抜き、付属の電源ヒューズに差し替え、DCSの赤線と電源ヒューズを接続して下さい。

50プリウス

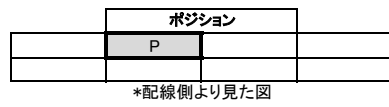


- ①フロントフォグ後方の4極カプラーを確認して下さい。
- ②4極カプラーを抜き、メス側の<P>の位置の端子を抜いて下さい(下記図面はメス側カプラーを配線側より見た図です)
- ③IG12v電源はエンジンルーム内助手席側のヒューズBOX内の指定ヒューズより取り出して下さい(付属の電源ヒューズと交換)
 - ECU IG2 No1(10A)のヒューズを抜き、付属の電源ヒューズに差し替え、DCSの赤線と電源ヒューズを接続して下さい。

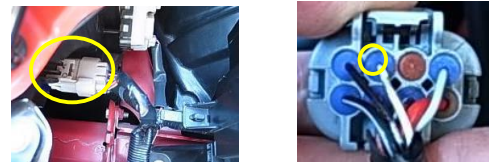


トヨタ 86

スバル BRZ

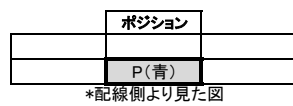


- ①フロントバンパーを脱着しヘッドライト下側の8極カプラーを確認して下さい。
- ②8極カプラーを抜き、メス側の<P>の位置の端子を抜いて下さい(下記図面はメス側カプラーを配線側より見た図です)

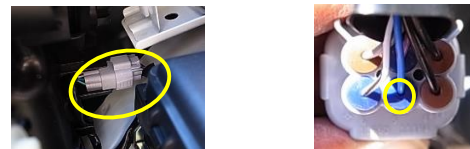


- ③IG12v電源はエンジンルーム内運転席側のヒューズBOX内の指定ヒューズより取り出して下さい(付属の電源ヒューズと交換)
 - IG2(7.5A)のヒューズを抜き、付属の電源ヒューズに差し替え、DCSの赤線と電源ヒューズを接続して下さい。

M700系パッソ(モーダ)

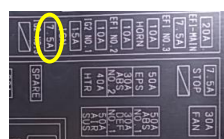
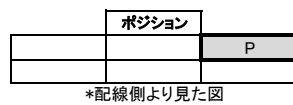


- ①フロントヘッドライト後方の6極カプラーを確認して下さい。
- ②6極カプラーを抜き、メス側の<P>の位置の端子を抜いて下さい(下記図面はメス側カプラーを配線側より見た図です)



- ③IG12v電源はエンジンルーム内助手席側のヒューズBOX内の指定ヒューズより取り出して下さい(付属の電源ヒューズと交換)
 - E/G(10A)のヒューズを抜き、付属の電源ヒューズに差し替え、DCSの赤線と電源ヒューズを接続して下さい。

170系シエンタ



- ①フロントヘッドライト後方の6極カプラーを確認して下さい。
- ②6極カプラーを抜き、メス側の<P>の位置の端子を抜いて下さい(下記図面はメス側カプラーを配線側より見た図です)



- ③IG12v電源はエンジンルーム内助手席側のヒューズBOX内の指定ヒューズより取り出して下さい(付属の電源ヒューズと交換)
 - IG2 No3 (7.5A)のヒューズを抜き、付属の電源ヒューズに差し替え、DCSの赤線と電源ヒューズを接続して下さい。